

ゼミ III：宿題 6

村澤 康友

提出期限：2025 年 6 月 11 日

1. 木下 (1994, 3.1-3.3 節) を読み、内容を十分に理解した上で、以下の作業を行いなさい。
 - (a) 論文の最終タイトルを決定しなさい。話題を絞りに絞ること。
 - (b) 論文の目的、使用データ、分析手法、分析結果を書き出した上で、それらを説明する目標規定文を書きなさい。特に (1) **何を目標として**この論文を書くのか（リサーチクエスチョン）、(2) そこで自分は**何を主張するのか**（メッセージ）を明確にし、一字一句を吟味して簡潔にまとめること。
※リサーチクエスチョンは「規範的問題」でなく「実証的問題」とし、それに対する答をメッセージとする。またメッセージの 5 つの条件も確認すること。
2. 野口 (2002, 第 7 章) をよく読んでから論文の骨子を以下の構成でまとめ、プレゼン資料として以下の 5 枚のスライドを作成し、PowerPoint 形式のファイルを MyKONAN で提出しなさい。
 - (a) タイトル
 - (b) 要旨（目標規定文）
 - (c) アウトライン（各章の見出し）※浅野・矢内 (2018, 16～20 頁) も参照。
 - (d) データ分析（表・グラフで示す）※データの出所を示すこと。他の文献の図表のコピペは不可。
 - (e) 参考文献リスト（実際に参考にした先行研究のみ 1 点以上）※文献情報（著者名・論文タイトル・掲載誌・巻・号・ページ・出版年）を記載する。URL のコピペのみは不可。

参考文献

浅野正彦・矢内勇生 (2018) 『R による計量政治学』, オーム社。

木下是雄 (1994) 『レポートの組み立て方』, ちくま学芸文庫。

野口悠紀雄 (2002) 『「超」文章法』, 中公新書。

— 今週の格言 —

読書は豊かな人間を、議論は機転が利く人間を、執筆は正確な人間を作る。

— フランシス・ベーコン —